

放課後子ども教室NEWS

食育教室 ～ただみ放課後子どもクラブ～

11月13日(月)に、「ただみ放課後子どもクラブ」を訪問しました。この日は、講師に只見中学校の栄養技師を招き、食育教室を開催していました。「子供達への食育を、以前から実施したいと考えていたんです。」と、町の学校給食運営委員も兼任する統括コーディネーターの平山さん。只見町の放課後子どもクラブでは、生活目標カードというチェックカードを活用し、食生活などについて、家庭に対する意識づけも行っているそうです。地域、学校、家庭が連携しながら、子供達の学びや生活を支えています。



<栄養技師から>
学校でも食育の授業をやりますが、クイズなどはあまり取り入れません。コーディネーターの方の要望を受けて、できるだけ子供達が楽しめる内容にしました。



「国語の『すがたをかえる大豆』の授業でやったよ！」
「長野県はどこだったかな。」
子供達は盛り上がります。
クイズは、学校の授業と関連させたものもありました。



「この前の親子給食で、かみかみセンサー（そしゃく回数を数える機器があるそうです。）で噛む回数を数えたよね。」
学校の取組を子供教室でも振り返り、意識を高めています。

子供達の様子から



食育教室後は、学習をする児童と体育館で遊ぶ児童に分かれての活動でした。

体育館では、コーディネーターも一緒にドッジビーで仲良く遊んでいました。

学習は、みんな静かに取り組んでいます。サポーターからアドバイスをもらったり、お互いに教え合ったりする姿も見られました。

帰りは、子供からサポーターに向けて「ありがとうございました。」という挨拶が。サポーターは、迎えに来た保護者に子どもクラブの様子を伝えます。

見通しをもって活動できる掲示や動線を意識した用具配置、一人一人を見守ることのできるスタッフの配置など、子供達が落ち着いて生活できるように工夫されていました。

